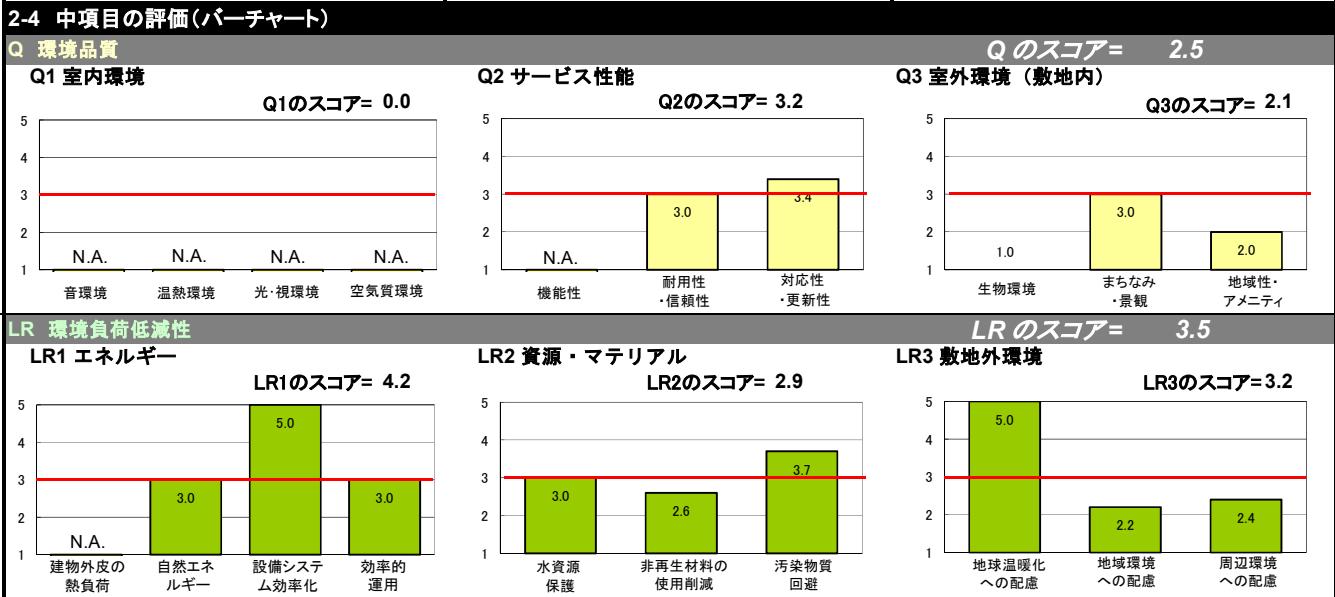
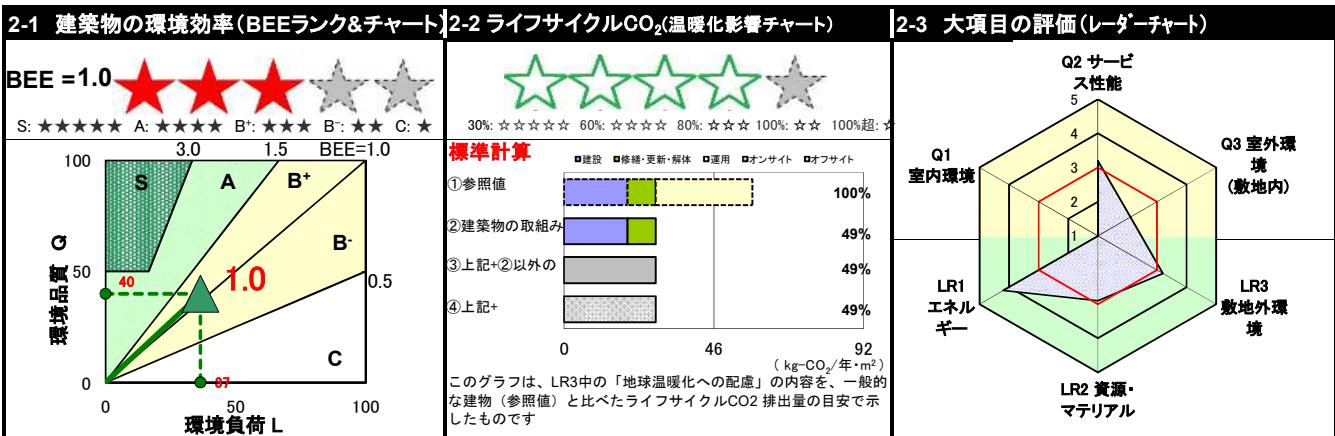


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 21022

建築物名称	(仮称)塩浜4丁目RF新築工事
建築主	株式会社リ・フォース 代表取締役 梶沢 英一
建築物の所在地	川崎市川崎区塩浜4丁目 5-1、2、3、4、5、6、7、14、15、16、18、19
設計者氏名、建築士事務所名	実原 美尚 ジェクト株式会社 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	3,825.00m ²
用途	工場
構造	鉄骨造
階数	地上2階
工事完了年月	令和5年1月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	太陽光発電

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)塩浜4丁目RF新築工事	階数	地上2F
建設地	川崎市川崎区塩浜4丁目5-1、2、3、4、5、6、7、14、15、16、18、19	構造	S造
用途地域	工業地域・防火地域無	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 竣工	評価の実施日	2021年9月17日
敷地面積	2,825 m ²	作成者	ジェクト株式会社
建築面積	1,947 m ²	確認日	
延床面積	3,825 m ²	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への貢献点(注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.1
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の基準に適合 植栽による良好な景観の形成	1.8/4.3	2.1
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.3/0.8	2.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	2.6
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 星光利用設備 3.2 3.2.1 星光制御	庇及びカーテンの2種類でグレアを制御	0.0/0.0	-
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の基準に適合	0.6/2.3	1.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用		4.3/5.0	4.3
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 3.2 フロン・ハロンの回避		2.7/4.7	2.9
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.3/0.8	2.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.1
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	耐用年数の長い建材の採用	0.5/0.8	3.4
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減		2.2/4.0	2.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.2/0.4	2.2
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.5
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の基準に適合	0.6/2.3	1.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用		4.3/5.0	4.3
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.3/0.8	2.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点

2.6

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点(注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 車体材料の耐用年数		0.1/0.2	3.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築車体等の継続利用 2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用		0.7/1.2	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用		4.3/5.0	4.3

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目	G	W	R	H	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	Q 建築物の環境品質								2.5	
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 溫熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										

Q2 サービス性能						—	0.43	—	—	3.2
1 機能性						—	—	—	—	—
1.1 機能性・使いやすさ						—	—	—	—	—
1 広さ・収納性						—	—	—	—	—
2 高度情報通信設備対応						—	—	—	—	—
3 パリアフリー計画						—	—	—	—	—
1.2 心理性・快適性						—	—	—	—	—
1 広さ感・景観						—	—	—	—	—
2 リフレッシュスペース						—	—	—	—	—
3 内装計画						—	—	—	—	—
1.3 維持管理						—	—	—	—	—
1 維持管理に配慮した設計						—	—	—	—	—
2 維持管理用機能の確保						—	—	—	—	—
2 耐用性・信頼性						3.0	0.50	—	—	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	—	—	—
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	—	—	—
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	—	—	—
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30	—	—	—
1 車体材料の耐用年数				R		3.0	0.20	—	—	—
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				R		2.0	0.20	—	—	—
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				R		5.0	0.10	—	—	—
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				R		3.0	0.10	—	—	—
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				R		5.0	0.20	—	—	—
6 主要設備機器の更新必要間隔				R		3.0	0.20	—	—	—
2.4 信頼性						2.6	0.20	—	—	—
1 空調・換気設備						3.0	0.20	—	—	—
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	—	—	—
3 電気設備						3.0	0.20	—	—	—
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	—	—	—
5 通信・情報設備						2.0	0.20	—	—	—
3 対応性・更新性						3.4	0.50	—	—	3.4
3.1 空間のゆとり						4.6	0.30	—	—	—
1 階高のゆとり						5.0	0.60	—	—	—
2 空間の形状・自由さ						4.0	0.40	—	—	—
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.30	—	—	—
3.3 設備の更新性						3.0	0.40	—	—	—
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	—	—	—
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	—	—	—
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	—	—	—
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	—	—	—
5 設備機器の更新性						3.0	0.20	—	—	—
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	—	—	—
Q3 室外環境(敷地内)						—	0.57	—	—	2.1
1 生物環境の保全と創出	G	W	H			1.0	0.30	—	—	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	G					3.0	0.40	—	—	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	—	—	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上						2.0	0.50	—	—	—
3.2 敷地内温熱環境の向上	G	W	H			2.0	0.50	—	—	—

LR 建築物の環境負荷低減性							-	-	-	3.5
LR1 エネルギー							-	0.40	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	W	H					-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	W	H					3.0	0.13	-	3.0
3 設備システムの高効率化	W	H	[BEI][BEIm] = 0				5.0	0.63	-	5.0
4 効率的運用							3.0	0.25	-	3.0
集合住宅以外の評価							3.0	1.00	-	-
4.1 モニタリング	W	H					3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制	W	H					3.0	0.50	-	-
集合住宅の評価							-	-	-	-
4.1 モニタリング	W	H					-	-	-	-
4.2 運用管理体制	W	H					-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル							-	0.30	-	2.9
1 水資源保護	W	R					3.0	0.20	-	3.0
1.1 節水							3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無							3.0	0.70	-	-
2 雜排水等利用システム導入の有無							3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減							2.6	0.60	-	2.6
2.1 材料使用量の削減	W	R					2.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W	R					3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W	R					3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W	R					1.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W	R					2.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W	R					4.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.7	0.20	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用							3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避							4.0	0.70	-	-
1 消火剤	W						-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	W						5.0	0.50	-	-
3 冷媒	W						3.0	0.50	-	-
発泡系断熱材の使用無し										
LR3 敷地外環境							-	0.30	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	W						5.0	0.33	-	5.0
1.1 ライフサイクルCO2排出率 49%										
2 地域環境への配慮							2.2	0.33	-	2.2
2.1 大気汚染防止							3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善	G	W	H				2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制							2.0	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減							3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制							3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制							1.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制							1.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮							2.4	0.33	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	-	-
1 騒音							3.0	1.00	-	-
2 振動							-	-	-	-
3 悪臭							-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制							1.6	0.40	-	-
1 風害の抑制							1.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制							1.0	-	-	-
3 日照阻害の抑制							3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制							3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策							3.0	0.70	-	-
2 基光の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0	0.30	-	-